



ちかばの酪農／情報誌

らくれんたよい



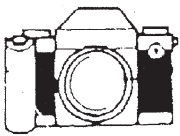
千葉県酪農農業協同組合連合会 / 千葉市若葉区富田町1033-1

☎ 043-312-8512 FAX 043-228-8338 URL <http://www.chikaba.or.jp>

Illustrated by Dairy Farmer Network/Chuo-rakunokaigi

2025 / JUL

NO. 540



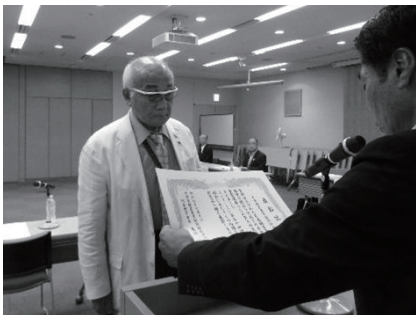
第54回 通常総会



千葉県酪連は7月10日、千葉市生涯学習センターにて第54回通常総会を開催しました。

購買表彰

総会に先立って行われた購買事業表彰では、目標達成賞を千葉酪農協に、購買利用高上位は千葉県三和酪農協、千葉県みるく農協、千葉酪農協にそれぞれ、県酪連会長から表彰状を全酪連専務から記念品が贈られました。



(左：千葉酪農協 星野組合長、中：千葉県三和酪農協 柳下組合長、右：千葉県みるく農協 奥野組合長)

熊谷知事へ表敬訪問



6月の牛乳月間にちなみ、6月12日に千葉県知事への表敬訪問に行ってきました。千葉県産牛乳乳製品を贈呈し、県産製品のPRや消費拡大活動への協力をお願いしました。併せて知事との意見交換も行いました。

千葉県酪連 第54回通常総会開催

県酪連は、7月10日（木）「千葉市生涯学習センター大研修室」にて第54回通常総会を開催しました。議長には高橋憲二氏（千葉北部酪農協組合長）を選任し、令和6年度事業報告、剰余金処分案等すべての議案を原案どおり承認しました。

生乳出荷戸数 300 戸を割りこむ

総会の冒頭、高橋秀行県酪連会長は、次のとおり挨拶しました。

世界の経済情勢は、コロナ後の需要回復があるものの、3年以上が経過したロシア・ウクライナ紛争は混迷の度合いを深め、エネルギー供給や食糧供給の不安定化なども影響し、インフレ率の大幅上昇、そして金利が世界的に上昇し為替相場も変動の度合いが増しています。

また、アメリカでいよいよ始まったトランプ大統領の二期目「トランプ 2.0」が、今後どのような政策を打ち出していくのか予断を許しません。が、早速出された「トランプ関税」のようなアメリカで起きる変化によって世界の様々な変化のスピードが加速しその振れ幅も大きく、世界貿易は混乱期に突入しています。

国内の酪農においては、直近2度の飲用乳価値上げにより一定程度の経営改善は図れたものの、生産コストの上昇分を十分にカバーでき得る水準だとは言えません。しかし一方では消費者小売

価格の改定や物価の急激な上昇による購買意欲の低下などを理由に生乳需要は停滞が続いています。

このような情勢の中、令和6年度の県内生乳受託販売状況は、生乳生産量 184,455 トン、前年対比 99.9%と前年同水準、令和7年3月の生乳出荷戸数は301戸、前年同月比20戸減少しました。廃業率は落ち着いたようにも見えますが、直近6月の速報値では291戸とのデータもあり、大きな懸念を持っています。

乳価については、すでにご案内のとおり、この6月から乳製品向けが、8月からは飲用・発酵乳向けが値上げ妥結となっています。この一連の乳価改定を最大限の効果で我々の手取りに反映させるためには、これまで以上に需要の創出、消費拡大への取り組みが重要だと位置付けられており、本会としても積極的に活動したいと考えております。

加えて、これ以上の生産基盤弱体化を招かぬよう、生産対策や自家産後継牛確保対策などを継続

らくれんだより JUL/2025 NO.540

- 千葉県酪連第54回通常総会開催／野島康祐 ①
- 7～9月期の配合飼料情勢／瀧澤秀樹 ④
- みるくフェスティバル2025開催／石井雅晴 ⑤
- 検定の現場から／検定組合／岡本均 ⑥
- スクリーニング検査の実施／畜産課家畜衛生対策室 ⑦
- 夏季の繁殖対策に受精卵移植の活用／県嶺岡乳牛研究所 ⑧
- 乳用牛ゲノム分析推進事業（県単独事業）／畜産課 ⑩
- らくれんだよりデータ／乳量／保浦達也 ⑪

して実施し、県内酪農家の支援に努めます。また、進捗の見えない組織再編の課題についても、改めて全力で取り組んでまいります。

令和7年度も県酪連では、県内酪農家を第一に、歴史と伝統のある千葉県の酪農が、長きにわたり存続できますよう、皆様のご協力をいただきながら進めてまいる所存です。

【令和6年度事業報告（抜粋）】

1. 販売事業

(1) 生乳受託販売事業----令和6年度、全国的には脱脂粉乳在庫削減対策は継続する必要があるが、2年間取り組んできた生乳生産抑制対策は停止とし、需給の見通しは不透明ななか、なにより需給を均衡させることが不可欠である。としました。

改正畜安法から7カ年、本会への生乳販売委託率は当初から引き続き100%（他の販売事業者への委託はありません）、生産量は184,455,033 kg、前年実績対比99.93%、129㍓減少となりましたが、昨年度がうるう年であることを加味すると、実質前年度を上回ったこととなります。

一方の生乳販売は、飲用牛乳等向け処理量は関東平均では前年実績対比99.1%と伸び悩み、加工発生率は生乳生産堅調の影響から10.16%（関東）と前年度より0.43%増加しました。

生乳取引については、令和6年度4月から学乳向けの値上げ改定があり、結果としてプール乳価は131.033 円/kg（前年度+3.766 円）となり、一連の値上げ前の令和3年度と比較した累積値上げ額は約18.8 円です。

(2) 学校給食用牛乳供給事業----生・処あげて供給拡大推進を図りました。供給人員は前年度対比98.7%と減少し、年間供給本数は85,182 千本（前年度対比99.5%）、供給対象人員1人あたりの年間供給日数は178.9 日

（前年度+1.5 日）と微増となりました。

(3) 牛乳消費拡大事業----「牛乳の日イベント、ミルクフェスティバル」については、千葉市の千葉ポートパークにて6月1、2日に開催、両日合わせた来場者約1万4千人と大盛況でした。このほか、牛乳の日・牛乳月間にちなんだ千葉県知事への表敬訪問並びに県庁外壁への懸垂幕掲示を継続実施しました。

搾乳体験車「ちかばのまきば号」については、学校への出前授業「モーモースクール」を県内酪農家や乳業メーカー協力の下、小学校8校にて実施しました。

県産牛乳普及対策については、県内農プラ支援対策事業、年賀はがきによるメール運動、ホームページ等により県産牛乳の普及定着化を図りました。

そのほか、牛乳普及協会事務局を受託し、千葉都市モノレール車両へのラッピングPR、JR主要駅やマリスタジアム、船橋競馬場での普及啓発活動に取り組みました。

2. 購買事業

生産性の向上並びに購入飼料費の低減に努めました。

米国産トウモロコシは、ブラジル南部の大規模な洪水やアルゼンチン産の害虫被害に伴う減産懸念、ウクライナ侵攻激化等による小麦相場の上昇、米国の堅調なエタノール需要等からシカゴ相場は上昇基調で推移しました。

大豆粕についても相場は高騰していましたが、その後好転し米国・ブラジルでの豊作見込みからシカゴ定期は軟調に推移しました。一方、中国産の産地価格は高騰しました。

今期の配合飼料価格は、4～6月期4,300 円／㍓値下げ、7～9月期2,750 円／㍓値上げ、10～12月期4,200 円／㍓値下げ、令和7年1～3月期2,650 円／㍓値上げとなりました。

配合飼料価格安定制度は、年間通して補てん金の発動が停止となりました。

輸入粗飼料については、米国内需並びに輸出需要が減退し、産地相場は軟調に推移しましたが、為替相場の円安ドル高基調の影響から高値安定で推移しました。

令和6年度購買事業実績は、総取扱数量25,028ト、前年対比89.7%となりました。

3. 生産対策事業

(1) 乳牛改良事業

①登録事業-----取り扱い件数は2,254件〔前年度実績対比103.6%〕。血統登録全体では101.3%となり、自動登録の普及が進んでいる傾向です。令和7年3月末の自動登録農家数は56戸（年度6戸増・1戸減）となっています。

②乳用牛群検定普及定着化事業-----優良乳用牛群の選定確保と能力に応じた効率的な飼養管理等の改善に努めました。

令和7年3月末の検定農家戸数は105戸（年度増減、加入2戸・脱退2戸）、検定実施頭数は、5,627頭となっています。

③乳牛共進会-----第70回千葉県乳牛共進会を千葉家畜市場にて11月14日に開催しました。

(2) 酪農基盤強化事業-----牛群検定事業への加入推進に努めました。また、指導者を対象に「飼養・乳質管理、検定データ分析、暑熱対策」と題した現場研修会を牛群検定組合と合同開催しました。

(3) 酪農経営対策事業

①酪農ヘルパー推進対策-----酪農経営支援総合対策事業（酪農経営安定化支援ヘルパー事業）を実施しました。

傷病時に酪農ヘルパーを一定期間継続的に

利用するのに備えて互助基金を拠出し互助する取組みを行い、6組合、延べ36名の利用に対して一部助成し、ヘルパー長期利用の負担軽減を図りました。また、千葉県単独事業である酪農ヘルパー傷病時利用支援事業により更なる負担軽減を図りました。

令和7年3月末の利用組合総数は10組合、組合加入戸数は149戸、専任ヘルパー15名、臨時ヘルパー6名となっています。

②酪農経営強化対策-----乳用牛長命連産性等向上緊急支援事業では、58戸・1,924回・20,082,000円の交付を受けました。

県単独事業である令和6年度ちかばの生産性改善支援事業では、「乳量向上推進事業」（検定農家対象）に77戸・8,100,000円、「スマート畜産推進事業」に4戸・3,787,541円の助成を受けました。

③後継牛確保育成対策-----性判別精液導入事業を実施、10組合・74戸・564本に対し、2,302,664円を助成しました。

④牛ウイルス性下痢（BVD）清浄化対策-----BVDのPI牛を摘発淘汰した、4組合・4戸・6頭に対し、600,000円を助成しました。

⑤暑熱対策-----風速温度計と計測ポイントのちらしを全農家に配布しました。

【購買事業褒賞要領による表彰会員】

○目標達成賞

千葉県酪農農業協同組合

○購買利用高上位3組合

千葉県三和酪農農業協同組合

千葉県みるく農業協同組合

千葉県酪農農業協同組合

（☎野島康祐）

令和 7 年 7 ～ 9 月期の配合飼料情勢

1. 主原料の米国産トウモロコシについて

6 月 12 日の米国農務省の需給予想において 2025 年産の生産量は 158 億 2,000 万ブッシェル（4 億 0,185 万トン、前年比 106.4%）、単収は 181.0 ブッシェル/エーカー、総需要量 154 億 6,000 万ブッシェル（3 億 9,270 万トン）、期末在庫は 17 億 5,000 万ブッシェル（4,445 万トン）、在庫率は 11.32%と発表されました。

シカゴ相場は、4 月の米国の需給予想で輸出需要が引上げられ期末在庫の減少が確認されると値を上げました。しかし、5 月に入り、米国の作付進捗が順調に推移したことや南米の豊作見込みを受けて大きく値を下げました。この結果、シカゴ相場は軟調に推移しています。

2. 副原料の油粕類の大豆粕について

米国・ブラジルでの豊作予想や米中不透明感による米国産需要の減少からシカゴ相場は軟調に推移しています。

3. 糟糠類について

グルテンフィードは主製品の発生期であるものの、飼料需要が堅調であることから相場は強含みに推移しています。ふすまは飼料向け需給が落ち込んでいることから、相場は弱含みに推移しています。

4. 脱脂粉乳について

欧州産やオセアニア産の生乳生産量は好調で、供給余力があることから相場は弱含みに推移しています。

5. 海上運賃について

4 月までは中国関連船舶への入港税の発動を警戒し高値となっていました。その後、入港税発動のリスクが低いと判断されたからは、落ち着いた状況となっています。

6. 外国為替について

米国の関税政策や、利下げ観測による日米金利差の縮小が意識され、ドル安／円高基調となっています。

以上のことから、令和 7 年度第 2 四半期（7～9 月）配合飼料価格につきましては、下記のとおり改定させていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

（1）配合飼料 トン当たり 2,000 円値下げ

（2）哺育飼料 トン当たり 16,000 円値下げ

なお、（一社）全国畜産配合飼料価格安定基金からの令和 7 年度第 1 四半期分（4～6 月）の配合飼料価格差補填金の交付は、発動停止で決定いたしました。

（㊦瀧澤秀樹）

6月1日は「牛乳の日」6月は「牛乳月間」 “ミルクフェスティバル2025”を開催しました

ミルクフェスティバル2025を千葉市の千葉ポートパークにて、令和7年5月31日(土)6月1日(日)の2日間にわたり開催しました。

初日は終日雨に見舞われましたが、一転して2日目は快晴に恵まれ、たくさんの方に来場いただきました。

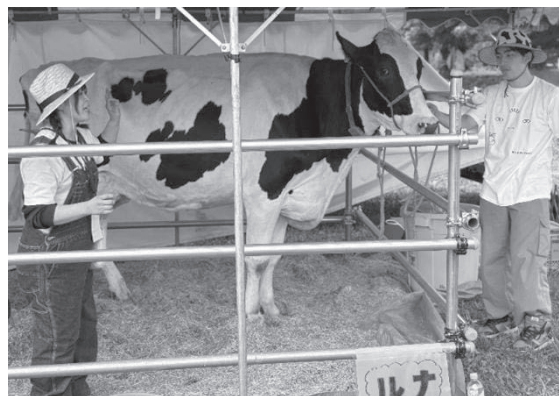
酪農ブースでは、さまざまなイベントを催しました。模擬搾乳体験、頭絡投げ、牧草で遊ぶ、ロールペールに落書き、ビートパルプの重量当て、ポニー乗馬体験があり、子供から大人まで一緒に楽しむことが出来たかと思います。



【VRで酪農体験してみよう！】

今回からの新たな取り組みとして「VRで酪農体験してみよう！」を行いました。

訪れた消費者には、VRを通して酪農家の一日の作業を体験していただきました。仮想空間で実際に酪農家になり、搾乳体験、給餌体験、哺乳体験や除糞体験をしました。



【親牛・子牛展示コーナー】

2日間を通じた総来場者数は約6,280人。生産者と消費者とが直接交流できたことで、酪農理解醸成及び牛乳消費への関心を高められたと思います。



このイベントは毎年多くの酪農家及び組合職員・乳業メーカーに協力いただき運営できています。今年も無事に終了することができました。ありがとうございました。

(☞石井雅晴)

検定の現場から その107



・第22回定期総会が開催されました！！

6月17日千葉市生涯学習センター研修室において第22回定期総会が開催されました。今年もオンラインによる併用形式の開催で、多くの検定農家の参加をいただきました。来賓に千葉県酪連・県畜産課・畜産協会・農業共済組合・他関係機関など多くの出席を頂きました。総会冒頭に糟谷組合長より、「令和6年度は乳価は上がりましたが、行政よりの支援は一切なく厳しい年だったと感じている。そんな中、組合として3月にバーンミーティングを開催し70名



を超える出席を賜り盛会裡に開催が出来ました。令和7年度については五里霧中ではあるが、あかるい酪農が来ることを信じて、国産の牛乳が大切だと思われる時が来る事を信じて、我々酪農家は頑張って行かなくては行けないと日々考えている」と挨拶をしました。引き続き議事に入り「規約の一部改正に関する件」、「令和6年度事業報告・決算報告」、「令和7年度事業計画・収支予算」、「令和7年度負担金額・徴収方法」の提出4議案のすべて承認を頂きました。総会終了後記念講演前に、県酪連野島参事よりここ数十年間の乳価の推移経過と今後の見込まれる乳価の説明があり、次に恒例であります岩瀬アドバイザーによる令和6年度年間検定成績優良者の紹介と、県内の成績を分析した検定成績項目の相関関係の発表が行われました。

・総会記念講演！！

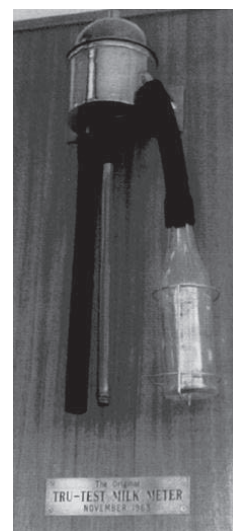
今回は検定組合のアドバイザーを委託している石山大先生にお願いし、「エコフィードを利用した県内外のコンサル事例」の講演を開催しました。コンサル事例以外に先生が特任教授として大学で研究している「動物福祉」はとても興味深い内容でしたので、次回紹介したいと思います。

・検定事業は50周年です！！

1974年牛群検定事業が全国で開始されて今年度50周年を迎えます。

5月29日東京八重洲で令和7年度乳用牛群検定全国協議会総会后、牛群検定50周年記念講演会が開催され、公益社団法人北海道酪農検定検査協会新井義久氏が講演しました。

講演内では1895年デンマークで世界で初めて乳牛の検定が組織され、日本では1911年（明治44年）宇都宮仙太郎氏所有の5頭を3日間検定したのが始まりだそうです。その後北海道内の行政と共に経済検定が進み、1974年（昭和49年）「乳用牛群改良推進事業」として全国統一の検定事業として実施されたそうです。講演の中で紹介された右写真は1963年（昭和38年）ツルーテスト社乳量計の初期型だそうです。62年前も今も形は変わりますが生乳サンプルを取る機能は変わらないと感じました。



（千葉県乳用牛群改良検定組合スーパー検定員・岡本均）

千葉県農林水産部畜産課 家畜衛生対策室からのお知らせ

**令和7年度も牛ウイルス性下痢(BVD)の清浄化のため
バルク乳を用いたスクリーニング検査を実施します。**

★BVDはどんな病気？★

BVDウイルスの感染により、牛に発熱、下痢、呼吸器症状、発育不良、繁殖障害などを起こす病気です。

この病気で一番問題となるのが、BVDウイルスを多量に排出し感染を広げるPI牛（持続感染牛）の存在で、PI牛が農場に存在することで、呼吸器疾病による子牛の死亡や持続的な流死産頭数の増加、乳量の減少などが起こり、農場の生産性を大きく阻害します。

県では、スクリーニング検査、牛の移動に伴う検査、スクリーニング検査陽性農場及びPI牛摘発農場の清浄化対策の取組みを柱とし、PI牛の摘発・淘汰を指導しています。

★令和7年度のバルク乳検査の実施について★

- ①県では、BVD清浄化に向けた取組みの一つとして、バルク乳を用いたスクリーニング検査を実施しています。
- ②令和6年度は、1回の検査を実施し、計222戸の検査を実施しました。
- ③令和7年度の実施方法は、令和6年度と同様の予定です。
- ④検査希望者のとりまとめは、各生乳出荷組合（各酪農農業協同組合・各農業協同組合）が行いますので、希望の有無を生乳出荷組合に回答して下さい。

★実施スケジュール★

各農場、令和7年8月頃に1回実施します。

（搾乳牛不在の場合、検査はできません）



嶺岡乳牛研究所からのお知らせ

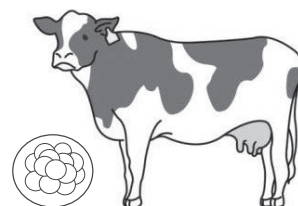
～夏季の繁殖対策に受精卵移植の活用を～

夏の暑さが厳しい季節、乳牛の受胎率が低下することは多くの農家さんにとって大きな課題となっていますが、受精卵移植の活用はこの課題を解決するための有効な手段になります。

夏季に受精卵移植が推奨される理由

- 人工授精の受胎率低下

牛は高温下での暑熱ストレスにさらされると、卵子や初期胚（授精後3日目あたりまで）の成熟・発生が阻害されるため、人工授精による受胎率は大きく落ち込みます。



- 暑熱耐性がある受精卵の移植

一方、授精後7、8日目の発生が進んだ受精卵は暑熱耐性を持つことが明らかになっており、受精卵移植は暑熱ストレスに弱い卵子や初期胚の時期を回避することで夏季の受胎率低下を軽減することができます。

従って、夏季に受精卵移植を活用することで季節により左右されることなく、安定した繁殖計画を立てることが可能になります。

当所の受精卵は暑熱対策以外にもメリットがあります

遺伝的改良：当所の優れた遺伝子能力を持つ供卵牛の受精卵を移植することで牛群の遺伝的改良に役立ちます。

受胎保証：受精卵は精液と比べて高値のため、移植をためらう方は多いですが、当所の受精卵は**受胎保証**※のため、安心して受精卵移植を活用することができます。

※受胎保証について

移植後90日以降の受胎を確認した場合、受精卵対価をお支払いいただきます。
(移植技術料は受胎の有無に関わらずかかります。)

受胎が確認されなければ、受精卵に対する支払いはありません。

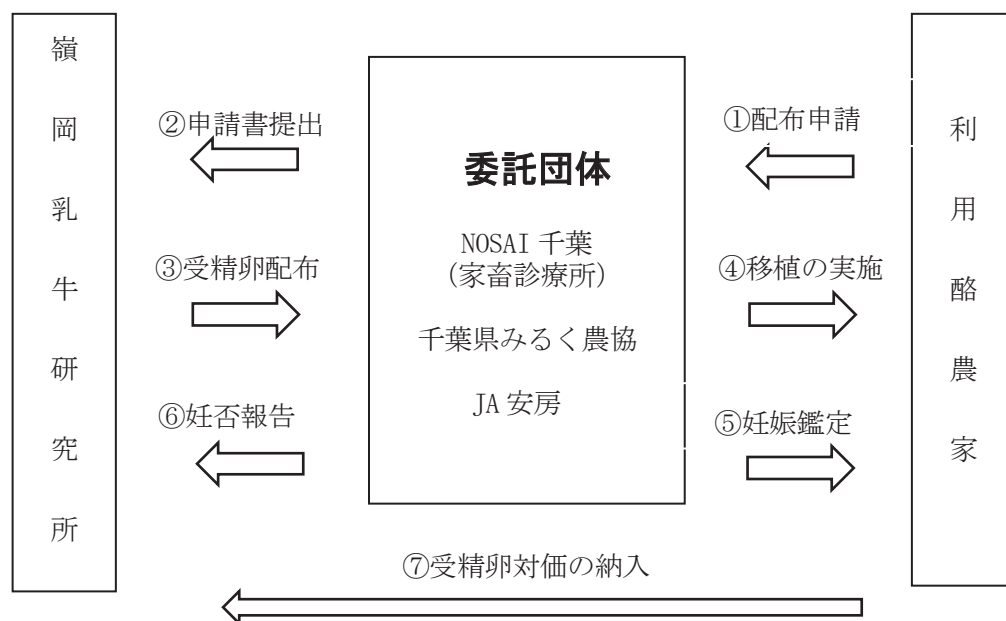
<受精卵の価格(税込)>

性選別精液により生産された受精卵：55,000円

通常精液により生産された受精卵：33,000円

乳用牛受精卵供給事業のご案内

<事業の流れ>



受精卵の有償譲渡も行っています

受精卵生産から2年以上経過した「通常精液により生産した受精卵」は、県内飼養の牛に移植する目的の場合、有償譲渡も可能です。

ただし、対価の納入確認後の譲渡になり、受胎保証ではありません。

また、譲渡した受精卵の保管は各自でお願いします。

受精卵価格：8,800円（税込）

当所受精卵の移植を希望される方は最寄りの委託団体にご相談ください。

また、供卵牛の能力や受精卵の在庫について詳細を知りたい方は下記連絡先までお問い合わせください。

<連絡先>

千葉県畜産総合研究センター嶺岡乳牛研究所

電話：0470-46-3011

FAX：0470-46-3012

メール：mineoka@mz.pref.chiba.lg.jp

ゲノム分析検査を実施し、遺伝的能力の改良を図る取組を支援します！

乳用牛ゲノム分析推進事業 (県単独事業)

◆ **対象農家**：千葉県内の酪農家

◆ **支援内容**：ゲノム分析検査に係る経費の一部を補助する。

◆ **要 件**：

- (1) 自己所有の未經産牛であること。
- (2) 検査結果及び検査後の生産計画の報告を行うこと。
- (3) 事業成果の確認のため、千葉県※に対し、本事業で得られる全ての情報を提供することに同意すること。

※農業事務所、畜産総合研究センター等

◆ **補 助 率**：**1 / 2 以内（上限 5,000 円／頭）**

◆ **Q & A**：

(1) **対象を未經産牛とするのはなぜ？**

授精開始前の未經産牛のゲノムを分析することにより、分析結果に基づいた交配計画を立てることができ、効果的な遺伝的能力の改良ができるため。

(2) **補助対象牛の優先順位は？**

効果的な遺伝的能力の改良の観点から、420 日齢（基準日※時点）以下の牛を優先して採択します。※分析結果表から確認することができる日とする。

（例：申込日を除き、検体が分析機関に到着した日、分析結果が出た日など）

(3) **補助対象頭数の目安は？**

募集締切り後、おおよその割当頭数をお知らせします。補助対象頭数は実績を踏まえ、決定しますので、予算に余りが生じた場合は、割当頭数以上に補助対象となることがあります。

(4) **実績報告時に提出する書類は何か必要か？**

ゲノム分析結果、別紙「ゲノム分析後の生産計画と重視したゲノム分析結果の項目」、支出証拠書類（領収書等）を提出します。

※実績報告までに書類が用意できない場合、補助の対象とならないことがあります。

(5) **分析申込みから分析結果が出るまでに要する期間は？**

申込先により異なりますが、依頼後 1 か月から最長 3 か月ほどかかります。

(6) **分析申込みの期限はあるか？**

(4) のとおり書類の提出が必要となりますので、令和 7 年 1 1 月 2 0 日までに分析機関への申込み及び分析試料の発送を行ってください。

【募集について】

◆ **募集期限**：令和 7 年 8 月 2 0 日（水）迄

◆ **提出書類**：参加申請書（別紙）

◆ **窓 口**：各酪農協、農協（各団体ごとに取りまとめて県酪連へ提出）

◆ **問合せ先**：各酪農協、農協

千葉県農林水産部畜産課

TEL：043-223-2939

●生乳受託販売実績

①令和7年度4月～6月分受託販売実績[関東生乳販連] (kg)

都府県別	数量	前年比	用途別	数量	前年比
茨城	47,787,199	100.0	飲用牛乳向け	196,019,984	99.4
栃木	88,410,420	101.1	(うち学校向け)	31,942,153	97.2
群馬	41,165,565	97.8	はっ酵乳向け	33,811,165	96.0
埼玉	9,747,879	98.4	特定乳製品向け	37,430,431	109.4
千葉	50,339,966	101.8	(うち委託加工向け)		
東京	2,125,304	107.3	生クリーム向け	2,900,602	93.3
神奈川	5,839,800	95.7	チーズ向け	398,712	100.8
山梨	3,324,685	103.6	全乳哺育向け		
静岡	21,820,076	98.5	総受託乳量	270,560,894	100.2
合計	270,560,894	100.2	加工比率	13.83% (前年同期 12.66%)	

②令和7年度4月～6月分受託販売実績[県酪連] (kg)

乳業者	数量	前年比	備考	乳業者	数量	前年比	備考
明治神奈川	2,257,490	92.68		ちば南房総	10,316	119.14	
森永東京多摩	1,472,030	67.10		秋葉乳業	40,508	90.27	
横浜森永乳業	3,411,890	117.12		新生酪農	522,274	63.10	
計	4,883,920	95.63		協同牛乳	120,000	160.00	全酪再
雪印メグ野田	10,524,110	104.99	全農、全酪再 茨城県西CS含	JAちば東葛	1,170	97.50	
協同千葉	2,303,830	105.33	全農再含	KURKKU	0		
コーン乳業	9,693,230	105.59	全農再含	その他全酪再委託	0		全酪再
古谷乳業	9,584,032	107.37	全農再含	その他全農再委託	177,370	100.02	全農再
効ナシ横浜	3,065,985	84.49		その他一般			
君津牛乳	228,018	98.19		委託加工			
トッパンハッケーシング	21,320	82.99					
千葉酪	5,671,671	107.03					
千葉北部酪	1,234,722	98.20		合計(Kg)	50,339,966	101.80	

③令和7年度団体別生乳販売委託実績(kg)

	委託団体	4月	5月	6月	4～6月累計	前年比
1	千葉県みるく農	3,923,394	3,956,954	3,566,633	11,446,981	98.48
2	千葉酪	686,995	687,426	635,969	2,010,390	95.53
3	千葉北部酪	341,508	329,330	296,032	966,870	84.50
4	八千代酪	1,415,106	1,463,421	1,331,694	4,210,221	105.39
5	千葉県三和酪	8,489,518	8,714,005	7,999,493	25,203,016	107.37
6	新生酪農クラブ	242,128	227,493	200,992	670,613	70.38
7	全農千葉県本部	1,978,822	2,022,521	1,830,532	5,831,875	94.73
	合計	17,077,471	17,401,150	15,861,345	50,339,966	101.80

記録的な空梅雨も明け、暑さが本格的になってきました。農作業中の熱中症には注意しましょう。こまめな水分補給や牛乳を飲んで熱中症予防。元気に夏を乗り切りましょう。(保浦達也)

第16回 全日本ホルスタイン共進会 千葉県最終予選会

日 時：令和7年9月25日（木）

場 所：千葉家畜市場

千葉市若葉区若松町432

審査員：株式会社 十勝家畜人工授精所

専務 山口寿典氏

＊10月25日～26日北海道勇払郡安平町にて全日本ホルスタイン共進会開催



らくれん フォトニュース

川名正幸さん(館山市 千葉県みるく農協) 春の叙勲

川名正幸さん(千葉県みるく農協)に
2025 年春の叙勲 旭日単光章が授与され
ました。

同氏は「循環型酪農」を実践。大規模経
営、乳牛の育種改良、自給飼料栽培を続
け、地域の農地維持にも大きく貢献され
ました。



第17回関東生乳品質改善共励会表彰式



第17回関東生乳品質改善共励会表彰式が、
7月23日に「東京ガーデンパレス」(お茶の
水)において開催されました。

千葉県からは、最優秀賞に伊藤博氏(千葉
県三和酪農協)、(株)須藤牧場(千葉県みるく
農協)が表彰されました。(株)須藤牧場は長
期連続賞も受賞しました。

(写真左から高橋県酪連会長、伊藤廣紀氏、
須藤裕紀氏)

新 人 紹 介



7月1日から県酪連に新しい職員が加わりました。

佐藤大和(さとうやまと)と申します。
業界業種未経験でのスタートとなりますが、地道に努力を
重ね、皆様のお役に立てるよう、業務に邁進いたします。
よろしくお願いいたします。

らくれんだより

2025年7月25日発行
(定価・1部35円)

■発行・千葉県酪農農業協同組合連合会
〒265-0041 千葉市若葉区富田町 1033-1
☎043-312-8512 FAX043-228-8338
■印刷・(有)ワールド印刷

酪農生産者のロマンと消費生活者の安心をつなぐスペシャリストに
全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

初乳粉末製品

**GOOD
START**
PREMIUM

ホルスタイン雌子牛“強化”哺育用

カホブEX
エクセレント

移行期専用配合飼料

DRY&FRESH SE
ドライ&フレッシュSE

情報誌バックナンバー、最新情報はHPでも。

全酪連

検索



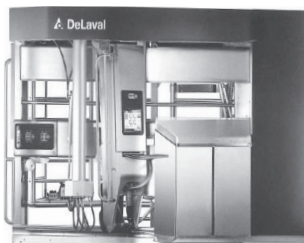
千葉県内、全酪連スタッフ巡回中！
 牧場と一緒に良くしていきましょう！
 お近くの酪農協、千葉県酪連 業務課
 もしくは全酪連 東京支所へ
 お気軽にご連絡ください。

千葉県酪連 業務課
 Tel.043(312)8513

全酪連 東京支所
 Tel.03(5931)8011

DeLaval

搾乳ロボットVMS・V300



豊かな畜産経営に奉仕する

株式会社 **ニッサク**

本社：千葉県香取市山倉1692
 TEL. 0478-79-2131

南房総営業所：
 南房総市白浜町溝口6891-1
 TEL. 0470-29-7181

<http://www.nissaku-c.co.jp>
 E-mail:nissaku@iaa.itkeeper.ne.jp



ORION
 冷熱と真空でイノベーション

子牛の成長のサポートと
 哺育作業の省力化を実現

個体別自動搾乳ロボット

カーフレール



中央オリオン株式会社

千葉営業所 TEL 043-228-8501
 安房営業所 TEL 0470-36-2761

畜産経営のIT化をトータルサポート！

一歩先の農業経営へ！



農業ソフト…農業簿記

決算から申告まで農業会計をトータルにサポート
 青色申告・白色申告両対応/個人・法人両対応/最新税制に対応！
 減価償却資産・育成資産管理/不動産管理機能など



ハードウェア…Fujitsu その他各種メーカー

OCE

株式会社コンピュータエンジニアリング

千葉市中央区問屋町1番35号(千葉ポートサイドタワー23階)
 TEL 043(246)3671

“Fine Technology をさらに展開しサニタリー
 エンジニアリングを通して豊かな暮らしに貢献する”

ヤスダファインテ株式会社



■クーラーステーション設備
 ■ミルクローリー ■流量計装置

本社・工場 千葉県鴨川市北風原938

TEL:04-7097-0333

東京 本部 東京都墨田区東駒形4-12-10

TEL:03-3625-3481

